

田原市立田原福祉専門学校後援会機関誌

たっぶく だより

No. 7

編集発行 平成 16 年 3 月 1 日
田原市立田原福祉専門学校後援会
会長 川 澄 春 男



入学式で誓いの言葉を述べる河合祥子さん

過去そしてこれから



副校長
小 澤 湛先生

私の第二の人生は本校学生の屈託ない笑顔と明るい挨拶からスタートした。茶髪にピアスという現代の若者そのものであったが、こころ優しさをほうふつとさせる出会いに Happy retirement!

あれから早や一年。今、彼等ほどのような思いでいるのだろうか。介護への夢は実現に近づいているのだろうか。それとも……。

ここに私が今あるのは大学受験の頃に遡る。何となく選択した看護学校。医師の指示なくして動けない臨床看護に物足りなさを覚え、自分探しの旅をした。幾多の人に支えられた旅の出口は公衆衛生看護しかなかったのであるが、感謝こそすれ後悔の念は全くない。

現代の看護学生は、「人の役にたつ仕事がしたい」と目的意識は明確である。しかし、基礎教育を終え臨地実習が開始する頃には、看護の理想と現実のギャップに揺らぎ、迷う心は今昔変わらないように思う。私

この人に聞く

彦坂 共範さん・鈴木 玲さん
比嘉 くりささん
(六期生)

今までの卒業生は老人施設、障害者施設への就職が多い中、今回は精神病院へ就職された6期生の彦坂さん、鈴木さん、比嘉さんにインタビューしました。仕事で疲れているにもかかわらず皆さん元気で、話は大いに盛り上がりました。

三人の勤務先は、清水町に昨年移転した可知病院です。精神科と内科、歯科(入院患者のみ)があり、精神科と内科は地域の人たちも利用できます。ベット数は六〇六床、現在7名の卒業生(1期生2名、2期生1名、3期生1名、6期生3名)が勤務しています。

皆さんの仕事内容を教えていただけますか？

『私の病棟はほとんどの人が全介助で、寝たきりの患者さんです。』

『私は准看護師の資格を持ってましたので、そちらで就職しました。病棟には若い人もいて二〇歳から六〇歳で皆さん自立しています。患者数は六〇名で職員数は二三名、長期入院の人も多くいるけれど、社会復帰を目指して作業療法、レクリエーション、またカラオケなどを楽しみな

がら治療にあたります。』

『私達のところは、五〇歳から九五歳の人で統合失調症の人や、老人性の痴呆の人もいます。ベット数は六二床で、入浴介助、食事介助、排泄介助(オムツ使用者は三〇人くらい)の中でもトイレ誘導することが多いです。その他、買い物、病院内の散歩などもしています。』

『痴呆の人の中には、異食、自傷行為、他害行為、また感情が激しく、暴言を吐いて、患者さん同士でのトラブルになることもあります。』

失礼かもしれませんが、精神障害って怖い印象があるけれど、患者さんとの接し方や対応はどうしていますか？



左から
彦坂くん、鈴木さん、比嘉さん

『些細なことで喧嘩をすることはあります。初めはビックリしてどうして良いかわからず、おろおろしたこともありました。今は患者さんに對して、毅然とした態度で、平静を装い、冷静に對応しています。』

『冷静なふりして内心びくびくだったりしてね。』

『まずは患者さん同士を離して、それからゆっくり話(理由など)を聞いて落ち着いてもらいます。でもなかなか気持ちがおさまらない人もいます。』

『中には、近くに人がいるだけで気になって興奮する人もいます。そういう人は危険な物が無い個室で落ちてもらいます。』

『やはり何事も経験ですね。』

『それに病気を理解するように努めています。』

『そつよね、私も初めて会った障害を持った人にどう接していいかわらなかつた。』

『でも大半の人は、落ち着いておとなしい人ばかりです。』

じゃあ学校で学んで活かせること、気づいたことは？

『学校で習ったような特殊浴槽が無いんだよね。』

『介護する方は楽だけど、介護される方はどんな気持ちかな。』

(前ページより)

は経験から、ここをサポートするのが教育であり、また教員の質が問われる部分であると看護教育に携わりながら日々考えてきた。結果は学生が後々評価すればよいとも。

介護も人のお世話をさせて頂くことでは看護と一部リンクした専門職である。やり甲斐はあるが、現実社会的にも看護以上に厳しい側面を持った職業である。

「社会に役立ちたい」「人の世話が好き」「何となく」。本学生の入学動機は多様であるが、即、介護の厳しさや直面することではどんな動機であれ同じである。学生の夢を形や力に変えていくよう援助していくのが学校の役割である。

介護の対象者には様々な人生模様がある。それ故、多様な介護福祉士がいて良いというのが私の信条である。しかし、人々の心のページに一行でも記される介護福祉士でなければならぬとも思っている。そのためには専門的な知識・技術は当然のことながら、豊かな人間性が脈打つ一人の人間であって欲しいと願っている。ついでながらユーモアを解し、個性豊かな人であれば尚いい。学生の夢は私の夢。夢の実現に向け、与えられた役割を大いに楽しみたい。

『本で読んだんですが、特浴が廃止の方向に進んでいると書いてありました。』

『特浴ではないんですが、私が今まで見た中で、嫌なのは、ネットにぶら下がって脱衣所から浴槽まで空中遊泳する機械、分るかな?』

『ああ知ってる。うん、私も嫌だ。』

『それからオムツの当て方なんかも学校と違うんだよね。教えてもらった通りにやったら「違う!」って言われて、先輩に教えてもらった方法でやったら、今度は他の先輩に「違う!」と言われたり、初めの頃は泣きそうだった。でも考えてみたら一人ひとり違うから・・・。』

『介護される人も、する人も楽な介護方法見つけたいですね。』

『介護と医療の違いからか、理解できない言葉もあって困りました。』

『僕は、業務に追われて、患者さんとコミュニケーションをもつ時間が少なくて、これでいいのかなって困ってる。テキパキこなして時間を作ろうと思っただけど、忙しい。』

『私もそう、でもまだ慣れなくて自分にゆとりが無いからかもしれないけどね。』

『私、学校で教えてもらっていつも思うのは、業務に追われてできなくとも、そついつ気持ちでいることが

大切。できないから諦めてしまっんじゃないかって、患者さんへの思い、こつした方がいいと思いつながら仕事しているの。時には忙しくてキツイ言葉が出てしまつこともあるけどね。』

学校での精神保健の勉強は役立つと思いますか?

『その時は病院に勤めようと思っ ていなかったの、もっとシツカリ勉強しておけば良かったと思う。』

『可知病院では、精神保健についての勉強会、看護師さんの症例発表などがあり、勉強する機会があつてやる気が出てきた。』

『私は看護師で就職し、二年間プランクがあつて心配したけれど、先輩たちがいろいろ教えてくれて助かっています。』

泣きそうになったり、時には無理して毅然と冷静に対応したりと、仕事上でのストレスも多いと思いますが、発散方法は?

『辞めたくなつちやつたこともあるよ。でも友達に相談して、もうちょっと、もうちょっとと頑張つてました。今は仕事好きですよ。お休みの日に可愛い甥っ子と遊んだりしてストレス発散しています。』

『私は彼氏に会つて、愚痴を聞いてもらつて解消してます。』

『僕は自転車が好きだからサイクリ

ングへ行つたり、空手をやったり。それとアニメを見ます。』

『仕事のストレス結構あるから溜め込むと怖いよね。私は自分の中に、もう一人の自分がいて、自分を誉めるの。「頑張つたね、無理しなくていいんだよ。それでいいんだよ。まだまだいけるよ。」とかね、変でしょう。』

『人生、仕事だけじゃないから、息抜きて大事。でも適当にストレスが無いと人間だめになつちやうつてね。』

今後の目標や希望はありますか?

『僕はアニマルセラピーをやりたい。人間みたいに言葉は無いけれど、気持ちのふれあいがあるし、癒されるから。たとえば、ぎすぎすした人同士でも、動物を通して会話が生まれたり交流できることもあると思う。』

『私は仕事に対して疑問がいっぱい



インタビューを終わって、
みんなでハイパチリ

あるので、少しずつ勉強して解決したい。』

『新しい介護方法を勉強して身に付けたい。学校を離れると学ぶ機会が少ないし。』

『大勢の声の方に考え流れやすいから、自分を見失わないで流されないうつにしたい。』

『自分の心にゆとりを持つ。ゆとりが無いと良い介護ができないよ。』

最後に先輩への一言をお願いします。

『自分の人生を楽しみながらゆとりを持って仕事してください。』

『理想と現実の違いがあります。頑張りすぎて、燃え尽き症候群にならないようにして下さい。』

『初心を忘れず、振り返ってください。』

『身体が資本、鍛えた方がいいですよ。』

『そつだよ、この仕事は腰を痛める人が多いから皆さんストレッチなどして気をつけましょう。』

『健康管理大事だよ。ちょっとした風邪でも、身体の弱い人に移してしまつし、自分が寝込んだらなんにもならないよね。』

今日は忙しいところありがとうございました。

(インタビューアー 柴田・岡本・松原)

動いた、楽しんだ、そして輝いた

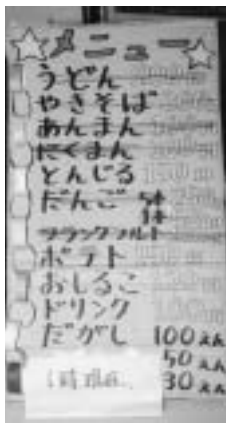
伝統の 学園行事

たつぷく祭

たつぷく祭実行委員が発足したとき、何をもって、たつぷく祭の成功としたら良いのか考えました。『実行委員がチームとしてまとまることで、終わったときに満足感・充実感を持てるのが成功か。』それとも、『ご来場いただいた皆様に、評価していただくことなのか。』それとも…等々、考えもまとまらないまま忙しい学校生活と委員会の運営の渦中に私は突入していったのです。



何はともあれ、たつぷく祭の醍醐味は、何から何まで学生主体で計画実行していくことにあります。その中で、それぞれ多くのことを学んでいます。いくことができたのではないかと思います。



特に、人との係わりにおいて、学ぶことが大きかったのではないでしょう。地域の方々や学校外部の方々との交渉、スケジュール調整などをこなして行く中で、度胸や、自信が身につく、目を追うことに一人ひとりの主体性が育って行くのを、私は実際に感じていました。

たつぷく祭を終えた今、あらためて、こう思うようになりました。成功も失敗もない。それぞれ、後悔なり、満足感なり、何でも良いので、その人なりに解釈していく中に何か残れば、これ以上のものはないとい

うことです。

最後になりましたが、全学生、職員の方皆さん、ご協力いただいた全ての皆さん、ご来場いただいた皆さん、そして実行委員のみなさんに感謝します。ありがとうございました。

(実行委員長 林)

凧まつり

一年生で、実行委員として初めて凧まつりに参加し、協力をしている大切さを学びました。

二年生になり実行委員長として参加し、当日までにいろいろな準備を協力して行なっていきましたが、自分が実行委員をまとめていくという難しさを実感しました。今、何をしなければいけないのか、毎日、なくてはならないことがたくさんあるはずなのに、出てこなかったり、本番が近づくとつれて、やり残していることがたくさんあったりしました。伝えたいことがきちんと伝わらなかつたりし、二度手間をしてしまったことや、意見のくいちがい等たくさんあり、実行委員の皆さんには、ご

迷惑をおかけしました。

まだ、体験したことがなく、何も分からない状態の一年生が、自分から分かっていく、きちんと協力をしていきたいという気持ちを持っていることに気付き、とてもうれしく感じました。

田原まつり、たつぷく祭とは違い、一番短い期間で準備をしていくこともあり、とても、ばたばたとしていた気もしますが、当日、大凧が上がった時は、うれしく、とても感動しました。





凧づくり - 「うーん、うまくいかないなあ...」

実行委員は、たいへんですが、委員でないとは体験することのできないこともたくさんあります。私は、委員長をやらせていただいて、一つの行事を行なっていくために、協力していかないといけない大切さ等、たくさんのことを学びました。凧まつりを成功させていくことができたのも、保存会や地域の方々、先生方や学生課の方々、生徒の皆さんに協力していただけたからです。大変なこともありましたが、忘れることのできない思い出となりました。ありがとうございました。

(実行委員長 永田)



田原まつり

九月十三日・十四日の両日にわたり、田原まつりに参加させていただきました。今回で四代目となる『たつぷく組』は、自分達の個性を活かし、先輩からの伝統を受け継いでいく、協力し合い責任感を養う、地域との交流を深めていく、といった目的を持ち参加しました。

準備段階では、何をどのように進めたら良いのか、組長の仕事は何なのかといった不安や戸惑いでいっぱいでした。そのため先生方や実行委員、一般生徒に迷惑をかけてしまい、自分の不甲斐なさをあらためて感じました。そんな時、周りのたくさんの方に支えてもらい、乗り切れたこ

とを今でも覚えています。人の温かさに触れ、助けられました。

本番は、天候が少し心配でしたが、朝方の雨も止み、またケガ人もなく結果は成功したのではないかと思っています。悩みに悩んで完成したダンス、当日急遽ルートを変更した神輿、初体験の人ばかりだった山車、今となつてはこれら全て良い思い出です。

今回、田原まつりに参加して、個々の責任感を養うことができ、支え合う大切さなどを感じることができたと思います。今後、いろいろな場面で今回の経験を活かせれば良いなと思います。

(実行委員長 宮下)

お知らせ

後援会総会に合わせて、二期生の同級会を開催します。

- 1.日 時 / 平成16年5月9日(日)午前10時30分から
- 2.会 場 / 田原福祉専門学校講堂(2F)

二期生同級会世話人代表 鈴木 愛(☎0531-22-5882)

学校の紹介

8月20日に、田原町は隣接する赤羽根町と合併し、田原市となりました。それに伴い、学校名が田原町立から、田原市立に変わりました。

・〒四四一 三四二一

・愛知県田原市田原町中小路十一

・☎〇五三一 二二一 三九三九

なお、田原市は愛知県下32番目の市として誕生し、人口は約43、000人、行政面積は106・40平方キロメートルになり、住所表記も変わりました。

さて、本校が開校してから八年が過ぎようとしています。開校当時と比較すると介護福祉士の養成校を取り巻く状況も厳しくなり、新たな学校の魅力づくりが必要になってきました。その中、今後の在り方についても昨年度から学識経験者等による、学校評議会を立ち上げ、『学校の魅力づくり』について検討を進めております。

卒業生や在校生の皆さんにも、今後アンケートを実施する予定です。いろいろな提案をいただき、よりよい学校づくりの参考にさせていただきますので、よろしくご協力ください。

なお、卒業後住所等が変わった等変更のある方は、本校後援会事務局（田原福祉専門学校 学生課内）までご連絡ください。

今年度、後援会のご協力を得て、校歌の銘板を寄付いただきました。素晴らしい校歌を講堂に掲示し、皆さんに、校歌にもっと親しんでもらおうと考えております。学校にお寄りの際は是非ご覧ください。また、学校の魅力作りの一環として、図書室の充実を図りたいと考えています。

新しい先生方



副校長
小澤 湛先生

出身地 豊橋市、現在は小坂井町
好きな言葉 「凜として」。

趣味 ゴルフ・旅（全て忘れさせてくれます）・ラグビーのテレビ観戦（現役時代の平尾誠二のミスターファン。実戦を見るのが夢）・演劇鑑賞 **コメント** 県立総合看護専門学校での教員生活を最後に、縁あって本校にお世話になっていきます。常々、教育とは「育つこと」と「育

てること」の美しいハーモニーであると学生に接してきました。今も、学生の可能性を信じ、共に育つことができる事に誇りを持ち、継続できることに感謝しています。今後とも後援会の皆様のご支援をよろしくお願ひ申し上げます。



木村由紀子先生

住まい 渥美郡渥美町

好きな言葉 ピンチはチャンス!!
（困難にぶつかった時こそ逃げずに努力すれば、違う自分に成長できるチャンス） **マイブーム** ゴミ拾い（子ども達と一緒に環境ボランティアサークルで楽しんでいます。）、山歩き、お散歩、絵本を楽しむこと。

コメント 昨年四月から本学でお世話になっていきます。学生の中にいると、

「人の役に立つ仕事をしたい、人と触れ合う仕事をしたい。」

と願っていた自分の学生時代を思い出し、心新たな気持ちになります。

まだまだ未熟なため、皆さんにご迷惑をおかけしていますが、今後も研鑽を重ねながら頑張ってまいりますので、ご指導よろしくお願ひします。



石田 房枝先生

出身地 愛知県名古屋市長生、豊橋市育ち **好きなことば** 笑顔・明日は晴れる・おあらかに **マイブーム** 水族館、ドライブ、旅行、温泉 **コメント** 「継続は力なり」

で細く長く続けていることが幾つかあります。それらは、今では心の支えであり、周囲の人々に感謝しています。これからも一つ一つ自ら学び努力を重ね、前進したいと思っています。

本校在学中（一期生）に教えていただいた先生方にお会いでき、とても嬉しいです。また、後輩の学生の皆さんには、介護（仕事）の楽しさや厳しさなども伝え、力になりたいと思っています。母校に戻り、教員として一歩を踏み出したところです。どうぞよろしくお願ひいたします。



山田 康代先生

住まい 田原市 **好きな言葉** 誠心誠意 **マイブーム** お菓子づくり

くり(でも食べる方が好きです)、ピアノを弾くこと(でも自己流なのでなかなか上達しません) **コメント**

ト 学生のみなさんと関わることによって、多くのことを学ばせていただいております。失敗もあるかもしませんが、様々なことにチャレンジし、学べることの幸せを感じていたらステキですね。



椎名知づる先生

住所 愛知県豊橋市

好きな言葉 いつもにっこり笑うことノ自分のみにくさを恥じないことノ人の身になって思うこと。(渡辺和子さんの言葉) **マイブーム** 日帰り温泉めぐり **コメント** 今でも心からご尊敬申し上げる多くの先生方にお会いすることができた思い出深いこの学校に勤務することができ、うれしく思っております。また、現在勤務されている先生方や学生課の方々からも、あたたかいご指導をいただいております。至らない私ですが努力してまいりますので、よろしく願いたします。

インタビュー
ボランテア活動について

ボランテアで頑張っている7期生のお二人にお話を伺いました。

(平成十五年十二月実施)

筒井 知的障害者とのレクリエーションに定期的に参加しています。授産所などにお手伝いに行くなど、学校の空き時間はほとんどボランテアに行っています。

鈴木 筒井さんに誘われて参加しました。続けているのは、仲間や他のボランテアの人たちに刺激を受け元気をもらったからです。

筒井 私は先輩に誘われて始めました。ボランテア仲間や障害の子、知的障害を持った子がほとんどですが、みんなあつたかいんです。行く前は情報がなくてどんな様子かわからないから、どきどきしながら付き添って、突然どっか行っちゃったり、最初は驚いたけれど、だんだん雰囲気で察しがつくよつになりました。

高齢者のボランテアも行きますが、知的障害の子は何か作ったり一緒に活動したりできるのがいいです。一緒にやって笑顔が出たり、自分が知らないことやできないことができるのを発見したりするとうれしいですね。純真で心から打ち解けてくれ

ます。負担と思うことはなく、楽しみにしています。

鈴木 僕は、たまたま落ち込んでいたときに、障害者のボランテアの集いに誘われて参加しました。マラカスやマイクをみんなで作って、一緒に歌ったり、作った蝶ネクタイをつけて踊ったりしました。楽しくて、のめりこみました。ボランテアを



明るく語る筒井さんと鈴木君の二人

始めて、初対面の人と以前よりコミユニケーションが取りやすくなりました。身構えることがなくなりました。感じます。それに、ボランテアからバイトの情報、そして、就職の情報も教えていただきました。何より元気をもらって、人間関係も広がり、社会性が身に付いたと思います。

筒井 障害者との交流が増えて、お店とかトイレとか施設が気になるようになってきました。高齢者や障害者が生活するうえで、狭いとか、介助できるかとか、生活レベルで考えるようになってきました。手すりがないと危ないと思ったり、障害のある人と同じ視点を持つようになりました。

ボランテアを始めて、熱い心、やってみようと思えることが増えました。やることをしていれば周りの人も認めてくれるので自分の意見を言えるようになります。前向きに改善できるので、些細なことへこまなくなりました。

鈴木 人前でレクをしたりして、実習に行ってもボランテアでやったネタが役立つています。声もしっかりしてよかったですと言われて、自信ができました。笑顔で、「また来てね。」と言われるとうれしい。学校ではクールにしているけれどボランテアでははじめています。やりがいを感じて生き生きしている感じです。学校のほうが充電中で仮の姿みたいかな。

ボラでは、話ができたり、企画立案したり、いろいろな経験ができるところがいいし、笑顔が返ってきて気持ちいい。大変だね。って言う人もいるけれど、損得気にしたことがないし、忙しくて充実しています。

たうびく テイルーム



オーナー 柴田 美代
お客様 安藤真貴子・松原 宣子
嶋本 成子・田野 暁夫
岡本貴美子

Ⓜ こんにちは。今日は人生経験豊かな方が集まっていますね(笑)
今現在、どのような仕事をしているか話してもらえますか。

Ⓜ 僕は去年十月に自分でデイサービスを始めました。

Ⓜ 私はJAに入社し、在宅福祉の新事業の立ち上げに関わりました。

Ⓜ 実は私、今日からグループホームで働き始めたんです。

Ⓜ 初仕事はどうでしたか？

Ⓜ 前は施設で働いていたんです。業務が優先されて入所者と座ってコミュニケーションをとることがなかったんですよ。でもグループホームでは「入所者と座って話をするのも仕事なんですよ」と言われ、介護と援助の違いに戸惑いました。

Ⓜ 皆さんの中で戸惑ったことって何かありますか？

Ⓜ 私は、新事業を立ち上げるときに戸惑いました。というのも、学校で勉強したのは介護だけど、現場で求められたのは事務的な仕事が多かったから大変だった。

Ⓜ それはよく分かります。僕も

立ち上げのときに何度も県庁へ足を運びましたよ。書き直しが多くて大変だったけど、お陰で地域介護を目指すデイサービスが開設できました。

Ⓜ 立ち上げのきっかけは？

Ⓜ お年寄りの集う場所が地域に無かったから、自宅を開放しました。

Ⓜ お金がかかりますか？

Ⓜ 僕は有会社社でしたので、余りかかりませんでしたよ。

Ⓜ そこではどんな介護をしていますか？

Ⓜ 僕のところは少人数なので介護というよりも利用者一人ひとりに合った援助を心掛けています。

Ⓜ それが理想ですよ。私の施設では入所者よりも業務に追われて、ジレンマを感じます。

Ⓜ その人に合った援助って難しいよね。そういうときストレスを感じますか？

Ⓜ 僕はいつも新しい目標を持っているからストレスは感じないんだよ(笑)。

Ⓜ 目標が高いとストレスになる

んじやない？

Ⓜ だから、実現できそうなところに持つてくるといいんだよ。家内も一緒に働いているしね。

Ⓜ 人間って適度にストレスがないとダメだつてね。

Ⓜ 私もストレスを感じることもあるんだけど利用者(特に痴呆の人)に癒されることが多いんですよ。

Ⓜ あ、それ分かる。私もそうだよ。障害のある人から、優しさや元氣と勇氣をもらっています。

Ⓜ 私達は介護する方なんだけど、お年寄り達からエネルギーをもらい、反対に癒されているのかも知れないね。

Ⓜ でも、癒されるっていうのは、お互いの信頼関係が築けるからでしょ。

Ⓜ みんなはどうやって信頼関係を築いていますか？

Ⓜ 私は話をしているときにキーワードになるものを探します。例えば呼ぶときに「さん」か「ちゃん」で声掛けし、表情を見ます。

Ⓜ でも学校では「さん」って習ったよね。

Ⓜ 「ちゃん」って呼ぶと親近感を持つてくれる人もいるんだよ。体に触れて声掛けするともっと親しみも湧くよ。

Ⓜ 安心感が伝わるんだよ。

Ⓜ だからこの仕事、しんどいけれど辞められないんだよ。

Ⓜ お互い安心感を持つて仕事したいですね。

Ⓜ ストレスを溜めないようにまた話し合いたいよ。

全員 大さんせい。



編集後記

みんな忙しくて、編集委員会にもなかなか集まれません。もつと大勢の仲間に編集委員になつてもらいたいと思います。資格や力量は問いません。「たうびく」を愛する人なら誰でも、何人でも構いません。集まってください。待っています。